

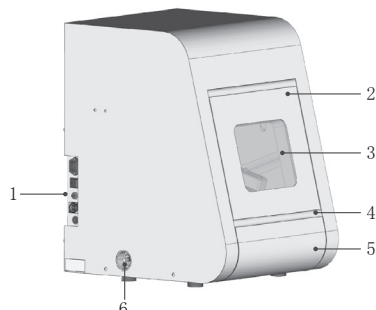
機械器具 60 歯科用エンジン
一般医療機器 歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット (34713000)

プログラミル PM DRY

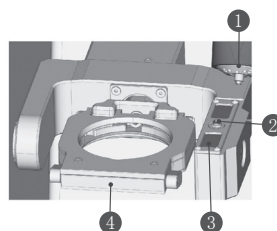
【形状・構造及び原理等】

〔装置概観図〕

本体



1. 接続パネル(主電源スイッチ、外部接続ポート)
2. チャンバードア
3. チャンバーウィンドウ
4. ドアグリップ
5. アクセサリコンテナ
6. サクションポート



〔装置内部〕

- ①スピンドル
- ②メジャリングキー
- ③ツールマガジン
- ④マテリアルホルダー

ツール

カラー	形状および直径(mm)	用途
イエロー	1.0c、2.5c、0.3、0.7、1.0、2.5	酸化ジルコニウム
グリーン	0.7c、1.0c、2.5c、f1.5、0.7、1.0、2.5	PMMA/ワックス

c：コーティング有、f：フラットエンド

〔電氣的定格〕

電源電圧：240V

電源周波数：50/60Hz

電源入力：600W

ヒューズ：L250V/T6.3A

過電圧カテゴリ：II

〔本体寸法及び重量〕

寸法：幅 450mm × 奥行 545mm × 高さ 630mm

重量：91kg

〔原理〕

本品は、コンピュータにより解析した口腔内データを用いて、専用の歯科材料を切削加工し、歯科修復物を作製する。

【使用目的又は効果】

本品は、ソフトウェアを利用した装置で、技工所又は技工室内に設置して歯科修復物のコンピュータ支援製造(CAM)に用いる。

【使用方法等】

1. 装置の起動

- 1) 本体をProgramill CNC PCと接続する。
- 2) 本体の主電源スイッチをオンにする。

2. 修復物の切削

- 1) ツールマガジンに新しいツールをセットする。
- 2) ディスクホルダーにディスクをセットする。
- 3) PCの操作画面からミリングモードを設定し、切削を開始する。

3. 修復物の取り出し

- 1) ディスクホルダーからディスクを外す。
- 2) 修復物をクリーニングする。

4. 終了

- 1) 主電源スイッチをオフにする。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- (1) 本品の電源を入れる前に、電源ケーブルに損傷がないことを確認すること。
- (2) 電源ケーブルを抜く前に、本品の主電源スイッチを切ること。
- (3) 本品に残留電流検知装置/漏電遮断器を設置すること。
- (4) 本品の上に物を置かないこと。
- (5) 本品の下に電気機器や機械装置を置かないこと。
- (6) 本品を運ぶ時は本体底部を持つこと。
- (7) ヒーターや熱源の近くに設置しないこと。
- (8) 直射日光の当たらない場所に設置すること。
- (9) 通気を良くするために本品と壁の間に充分なスペースを確保すること。
- (10) 本品を爆発の危険がある場所に置いたり、そこで作動させたりしないこと。
- (11) チャンバードアの開閉時に指を挟まないように注意すること。

【使用上の注意】

〔重要な基本注意〕

- (1) 感電する危険があるため、カバー、底板等を開け、本体内部に触れないこと。また、濡れた手や湿った手で本品に触れないこと。
- (2) 必ず超微粒子フィルター付きのサクションユニットを使用すること。
- (3) 必ず表示されている規格のヒューズ、電源を使用すること。
- (4) 作動中にチャンバードアを開けないこと。
- (5) 本品の近くで液体を使用しないこと。誤って液体が本品内に入ったときは電源プラグを抜いて、修理を依頼すること。本品は作動させないこと。
- (6) 本品は室内でのみ使用すること。
- (7) 本品を改造しないこと。
- (8) 安全のため、必ずチャンバードアを閉じてから作動させること。
- (9) 本品や材料・ツールを扱うときは、手袋を着用すること。
- (10) 電源ケーブルは、鋭利なもので破損しないように配線すること。
- (11) エアホースに圧縮空気を通す前に、エアレギュレータ・バルブを閉じておくこと。

- (12)エアホースの接続部を点検する前に、空気圧を最小値に設定しておくこと。
- (13)本品の接続部やエアホースに問題がある場合は外部のコンプレッサーから切り離し電源を切ること。
- (14)本品の作動中にトラブルシューティングを行わないこと。
- (15)本品の安全装置を作動させなかったり、解除したりしないこと。
- (16)安全装置に損傷がないか、定期的に点検すること。
- (17)緊急リリースキーは、権限のある者のみがアクセスできる場所に保管すること。
- (18)取扱説明書のメンテナンス表に記載されている間隔及び条件に従ってメンテナンスを行うこと。
- (19)本品は、電磁波によって、無線通信に干渉を引き起こしたり、近傍の機器の動作を妨げたりする可能性があるため、機器の近くで使用しないこと。
- (20)故障・修理の際は必ずIvoclar Vivadent株式会社に連絡すること。訓練を受けた修理工のみ本品の修理を行うこと。
- (21)残渣物は歯科材料の製造業者の指定及び国や地方自治体の法令に従って廃棄すること。必要に応じて認定された廃棄物処理業者に依頼すること。

〔相互作用〕

携帯電話などの高周波通信機器は、医療機器に影響を及ぼす場合があるので、本品作動中は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管条件〕

許容温度範囲：－20～65℃

許容湿度範囲：80%

〔使用耐用期間〕

6年(Ivoclar Vivadent社指定の保守点検を実施した場合の自己認証)

【保守・点検に係る事項】

〔使用者による保守・点検〕

- (1)詳細については取扱説明書を参照すること。
- (2)本体及び部品は必ず定期点検を行うこと。
- (3)使用前に必ず本品が正常且つ、安全に作動することを確認すること。
- (4)本品の日常の清掃は掃除機で行うこと。清掃中はほこりゴミが入らないように注意すること。
- (5)清掃作業中に切削粉塵、蒸気またはその他の歯科材料の粒子から保護するために、保護マスクを着用すること。
- (6)本品を取り扱うときは、指輪、ブレスレット、時計などを着用しないこと。
- (7)メンテナンス、パーツの交換は電源ケーブルをコンセントから抜いた後に行うこと。
- (8)メンテナンス後、必要な安全確認テストを行うこと。
- (9)純正パーツのみを使用すること。

メンテナンス部品	メンテナンス内容	推奨頻度
エアホース	目視検査確認	電源を入れる前
サクションホース	目視検査確認	電源を入れる前
エアレギュレータ	始業前カートリッジの清掃	毎日
チャンバー	終業後の清掃*	毎日
コレット	スピンドルサービスセットを用いて清掃	週1回

ソフトウェア及びファームウェア	最新版へ更新	必要時
本体	マイクロファイバークロスによる清掃	必要時
ヒューズ	交換時はT6.3A L250Vを用いること	必要時
コレットクランチ	交換作業	1000時間稼働時又は年1回
ツールマガジン	交換作業	500時間稼働時又は年1回

*清掃

- 1.バキュームチャンバー内を掃除機で吸引する。
- 2.チャンバー内の表面や溝を乾いた布で清掃する。必要に応じて洗浄剤を使用すること。
- 3.メジャリングキー及びプロテクティブケースを濡らしたブラシで清掃する。
- 4.プロテクティブケースを乾いた布で清掃する。
- 5.マテリアルホルダーをブラシで清掃する
- 6.チャンバーウィンドウを布で清掃する。必要に応じて洗浄剤を使用すること。

- (10)毎年1回又は2000時間稼働ごとにIvoclar Vivadent株式会社によるメンテナンスを実施すること。

メンテナンス部品	メンテナンス内容	推奨頻度
スピンドル ベアリング	交換作業(Ivoclar Vivadent株式会社)	毎年1回又は2000時間稼働時

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〔製造販売業者〕

Ivoclar Vivadent 株式会社

電 話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

〔製造業者〕

vhf camfacture AG(ドイツ)